

V O L U M E  
20

DK VOICE Vol.20

第49期第2四半期  
株主通信

2021年4月1日 ———> 2021年9月30日

**DK** ダイコク電機株式会社

証券コード 6430

目次

01

ご挨拶・業績概要

02

業績ハイライト

03

事業概要・セグメント情報

05

トピックス

06

株主優待制度再開のご案内

裏表紙

会社及び株式の状況

## 経営成績

当第2四半期連結累計期間におけるパチンコ業界におきましては、複数の地域が緊急事態宣言下にありましたが、パチンコホールでは徹底した感染症対策を講じながら営業を継続しており、遊技機の稼動状況(前年同期比)は、7月～9月の期間平均で97%、直近9月単月では100%と、コロナ禍以前の水準には至らないものの、前年同期並みに推移しました。特にパチンコ機では高い支持を得るヒット機種の影響もあり、7月～9月の期間平均は103%、直近9月単月では105%と堅調に推移しました(当社「DK-SIS」データ比較)。

遊技機市場では、2022年1月末を設置期限とする旧規則機から新規則機への段階的な入替が進んでおり、2021年9月末における新規則機の入替進捗率につきましては、パチンコ機は堅調な稼動を反映して80%と順調に進んでおりますが、稼動が伸び悩むパチスロ機では58%と低迷しました(当社推計)。しかしながら、パチスロ機では2021年9月より有利区間のゲーム数が緩和された6.2号機が市場に登場し、今後の稼動に注目が集まっております。

パチンコホールの設備投資は、新規出店や大規模改装工事など大型投資を控える傾向は継続しましたが、パチンコホールの一部をパチスロ機からパチンコ機へ変更する小規模な改装工事は増加傾向にありました。

今後の業界動向につきましては、稼動が堅調なパチンコ機を中心にファンの回帰が期待されておりますが、新型コロナウイルス感染症の再拡大や、半導体不足による遊技機・設備機器への各種影響が懸念されており、先行きは不透明な状況にあります。

このような市場環境のもと、情報システム事業におきましては、周辺

エリアの集客状況を提供する商圏分析サービス「Market-SIS」の普及促進や、AIホールコンピュータ「X(カイ)」の活用提案を強化し、既存のホールコンピュータからシステムアップによる入替促進に努めました。7月には今年で18年目を迎えた「DK-SIS白書」2021年度版(2020年データ)を発刊しました。2021年度版では、新型コロナウイルス感染症の影響や「遊タイム」等の新しいゲーム性を有する遊技機の登場など、大きな変化があった2020年の営業データを集計・分析し、パチンコ業界の現状と今後の動向予測を掲載しております。また9月には、オンライン形式の「Web展示会&セミナー」を前年に引き続き開催し、多くのパチンコホール経営企業にご参加いただき、業績向上に欠かせない遊技機管理手法の提案や好業績機種の見極めポイントなどを具体的に解説しました。

制御システム事業におきましては、期初に実施した大幅な組織再編により、開発管理の強化と業務効率向上によるコスト低減に取組むとともに、新規受託案件の獲得に向けた各遊技機メーカーへの提案活動を推進しました。また、事業領域拡大のため、受託によるパチスロ機1機種を製造しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高120億47百万円(前年同期比8.5%増)、営業利益8億63百万円(前年同期は営業損失1億85百万円)、経常利益9億19百万円(前年同期は経常損失18百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益6億78百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失48百万円)となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、表示方法の変更を行っており、前年同期比較については組替え後の前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の数値を用いて比較しております。

しなどにより仕入債務や未払金が減少したことや、短期借入金を返済したことにより、前連結会計年度末に比べ24億68百万円減少の79億53百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間末の純資産は、期末配当金の支払いがありました。四半期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べ3億1百万円増加の309億64百万円となりました。自己資本比率は79.6%(前連結会計年度末比5.0ポイント上昇)となりました。

## 財政状態

当第2四半期連結累計期間末の総資産は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなか、従前の営業活動を行えず、仕入計画の見直し等による商品及び製品の減少や、新型コロナウイルス感染症の影響が不透明な点を踏まえて固定資産の取得計画を見直し、減価償却費の計上などによる有形固定資産及び無形固定資産の減少等により、前連結会計年度末に比べ21億67百万円減少の389億17百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間末の負債は、仕入計画や開発計画の見直



株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当第2四半期の業績は、予想を上回る結果となり業績予想の修正を行いました。2021年3月期はコロナ禍の影響により減収減益となりましたが、2022年3月期は着実に業績回復しており、通期連結業績予想の達成に向けて取組んでまいります。

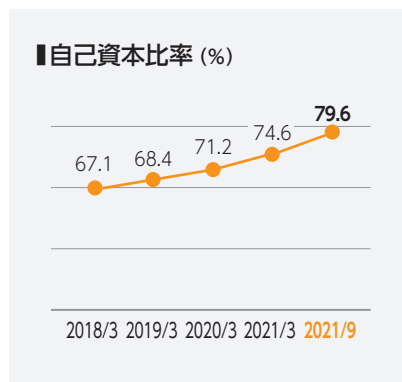
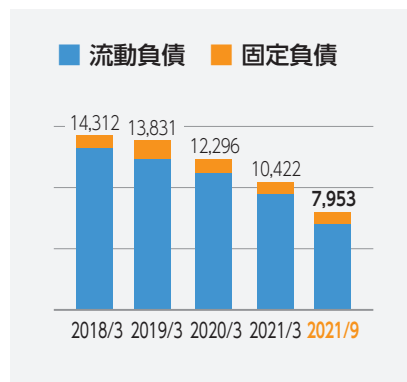
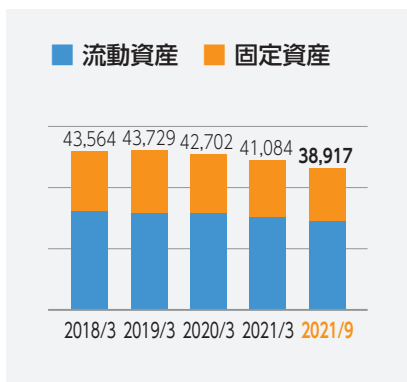
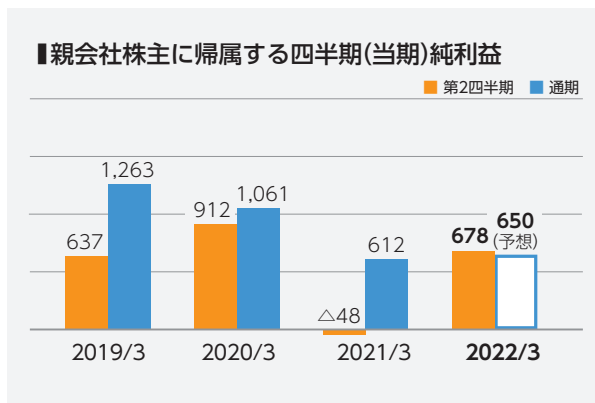
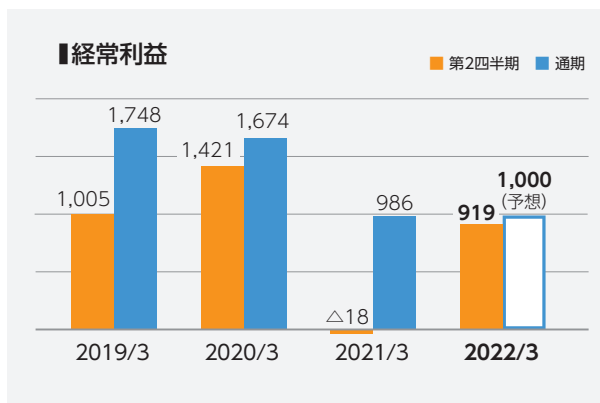
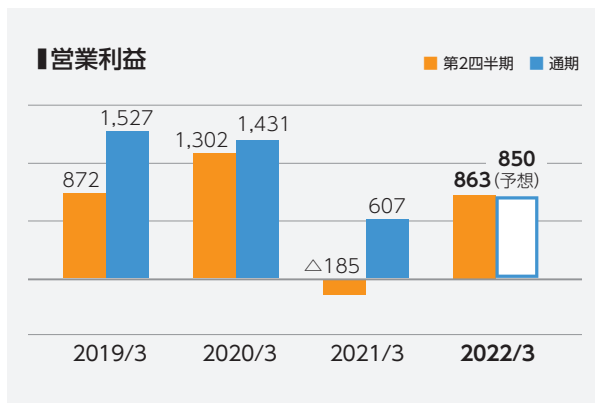
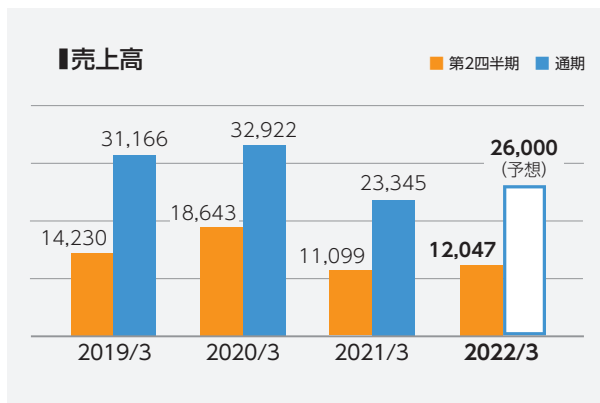
株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長 大上 誠一郎

# 業績ハイライト

2022年3月期第1四半期連結会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を適用しております。  
また、2022年3月期第1四半期連結会計期間より表示方法の変更を行っており、2021年3月期に係る各数値については、組替え後の数値となっております。

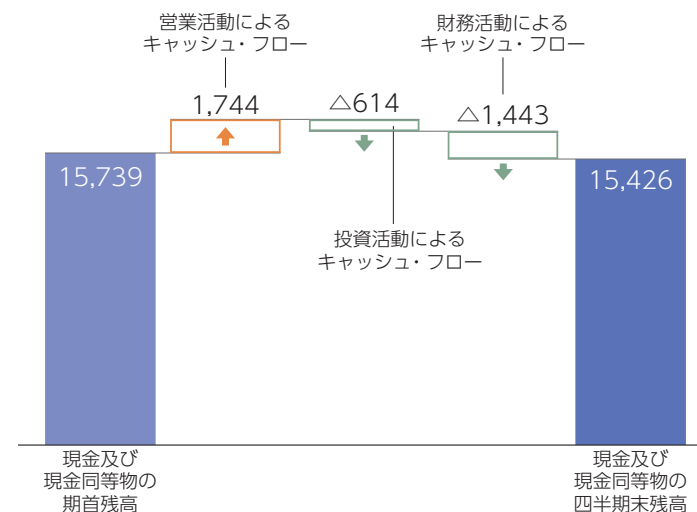
(単位：百万円、単位未満は切捨て)



## 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

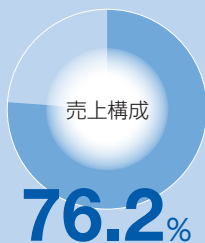
| 科目                       | 当第2四半期<br>2021年4月1日から<br>2021年9月30日まで | 前第2四半期<br>2020年4月1日から<br>2020年9月30日まで | 前年度<br>2020年4月1日から<br>2021年3月31日まで |
|--------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|
| 営業活動による<br>キャッシュ・フロー     | 1,744                                 | 844                                   | 3,396                              |
| 投資活動による<br>キャッシュ・フロー     | △614                                  | △818                                  | △2,242                             |
| 財務活動による<br>キャッシュ・フロー     | △1,443                                | △443                                  | △891                               |
| 現金及び現金同等物の<br>増減額(△は減少)  | △313                                  | △417                                  | 261                                |
| 現金及び現金同等物の<br>期首残高       | 15,739                                | 15,478                                | 15,478                             |
| 現金及び現金同等物の<br>四半期末(期末)残高 | 15,426                                | 15,060                                | 15,739                             |

## 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要

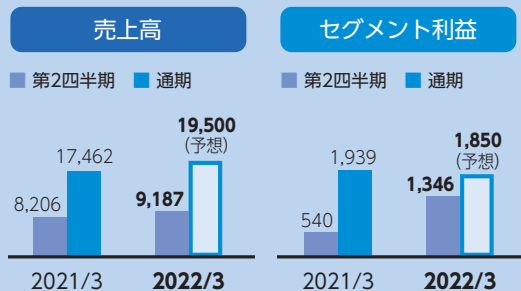


情報システム事業

パチンコホール向けに、店舗運営に必要な管理機器「ホールコンピュータ」をはじめとした情報システム機器を提供するなど、企業経営・店舗運営を支援しています。

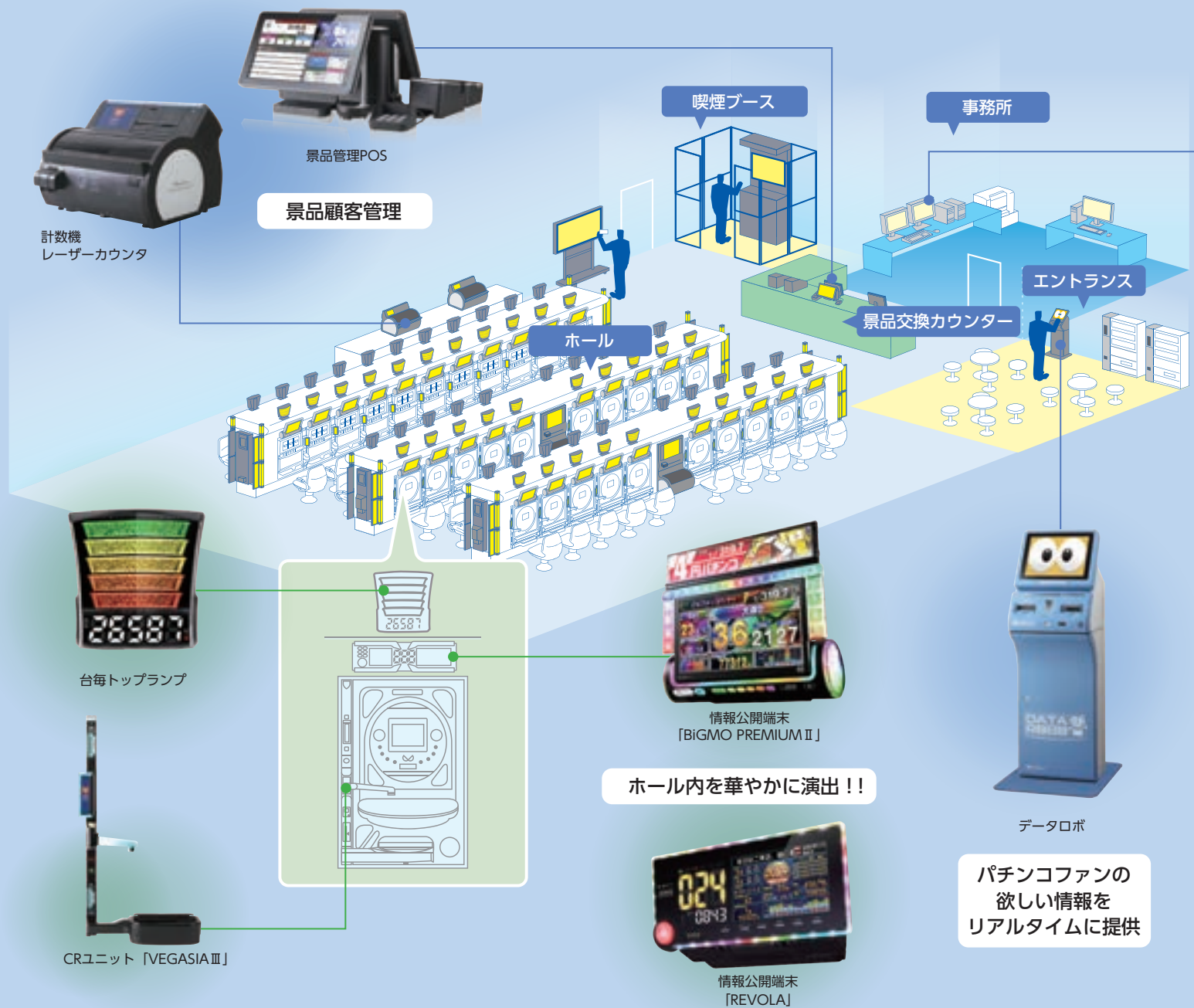


(単位: 百万円、単位未満は切捨て)



当期の営業概況

2022年1月末を設置期限とする旧規則機から新規則機への入替が優先され、新規出店等の大型設備投資を控える厳しい状況が継続しております。このような市場環境のもと「パチンコホール向け製品等」では、パチンコホールの一部をパチスロ機からパチンコ機へ変更する小規模な改装工事の増加に伴い、パチンコ機向け情報公開端末「REVOLA」やCRユニット「VEGASIA」の販売が順調に推移しました。また、感染症対策及び省人化対策としてホールスタッフを介さず、プリペイドカードの残高精算から賞品交換までをワンストップで実施するPOSシステム「ワンストップセルフカウンター」の導入も好調に進みました。

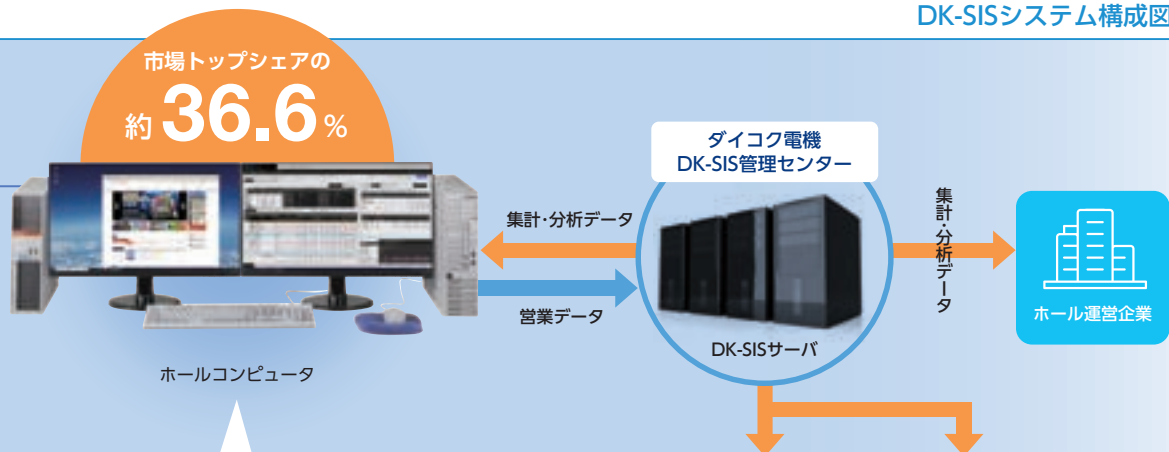


ホール内を華やかに演出!!

パチンコファンの  
欲しい情報を  
リアルタイムに提供

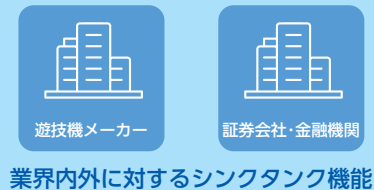
# 品を提供し続ける市場創造型の企業です。

DK-SISシステム構成図



## ホールコンピュータ

各遊技機の出玉情報や店舗全体の売上など各種営業データの管理を行うシステム。ネットワークを活用し、セキュリティ設定値のダウンロードや情報公開機器の設定を自動化し、ホール運営を強力にサポートします。

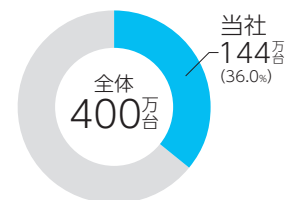


## 会員制情報提供サービス「DK-SIS」

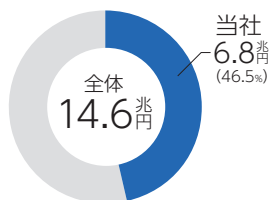
「DK-SIS」は、1990年に店舗経営を支援する会員制システムとして誕生しました。パチンコホールの基幹システムであるホールコンピュータとダイコク電機とを専用回線で結び、日々の営業データを収集し、分析、加工後、パチンコホールに各種データを提供する顧客支援システムです。遊技機データ量は約144万台分、金額換算すると6.8兆円分のデータをベースに、遊技機動向や営業データなど付加価値の高い情報を提供。ホール経営支援から業界の発展にも貢献しています。

このビッグデータを活用し、証券会社や金融機関など業界外にもパチンコ業界の指標を配信。リアルタイムに客観的な数値情報を公開することで、業界に対する信頼を構築しています。

2020年 データ送信台数

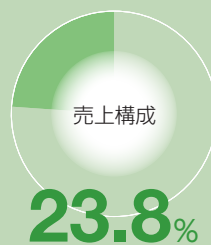


2020年 集計規模

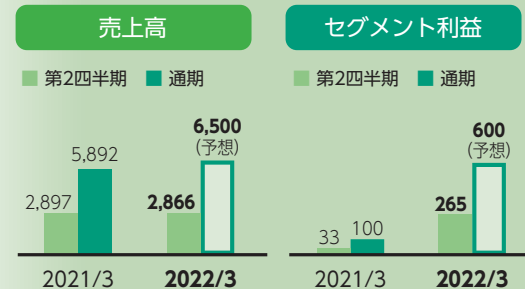


## 制御システム事業

パチンコ・パチスロ遊技機メーカーに対し、遊技機の表示や制御ユニットのハードウェア及びソフトウェアの開発からセールスプロモーションまで手がけています。



(単位: 百万円、単位未満は切捨て)



## 当期の営業概況

遊技機市場が徐々に回復に向かうなか、「遊技機メーカー向け表示・制御ユニット等」の売上は、パチンコ機向けの販売が好調に推移したことに加え、事業領域の拡大として新たにパチスロ機の受託製造を開始したことにより前年同期を上回りましたが、「部品・その他」の販売は前年同期を下回りました。

※セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれておりません。

DK



遊技機市場の変化に対応した企画開発



映像制作・プログラミング



品質管理 (デバッグ・検査)



表示用ユニット、制御用ユニットの提供

遊技機メーカー

## NOW DAIKOKU DIGITAL EXPO MIRAIGATE2021

2021年9月1日から14日の2週間にわたり、『DAIKOKU DIGITAL EXPO MIRAIGATE2021』と題しまして、Web展示会&セミナーを開催しました。昨年の経験を生かし、公開する動画コンテンツの充実と完成度、展示会サイト自体の品質にもこだわりました。新機能として「タグ付けによる目的に沿った提案の検索機能」「サポートチャットによるサイト案内機能」「人気コンテンツのランキング表示機能」など多数追加し、大幅なクオリティアップを実現しました。

今回の展示会では、当社の製品・サービスが巻き起こす様々な「ダイコクデジタルトランスフォーメーション（DDX）」をテーマとし、当社が創造するパチンコ業界の将来像を『MIRAIGATE VISION 2025』と題した動画で示すとともに、DDXを実現させる製品・サービスを動画で紹介しました。

市場投入から3年目、時流に沿ったアップデートを続ける主力製品AIホールコンピュータ「X（カイ）」を始め、2021年11月にリリースした当社初のクラウドを用いた新サービス・クラウドチェーン店管理システム「ClarisLink（クラリスリンク）」、業界初の遊技台予約を実現したWeb入場抽選サービス「スマート入場システム」といったホール経営企業の課題解決、業績向上の一助となる製品・サービスの提案を通じて、多くの業界関係者の皆さまへ当社の価値をより一層浸透させることができたと思うと手ごたえを感じる機会となりました。

### 人気YouTubeチャンネルとのコラボ企画



### Web展示会サイトの様子



また今回はチャレンジングな試みとして、チャンネル登録者数29万人超（2021年10月現在）を誇る人気YouTubeチャンネル『パチ屋の裏研修』に「スマート入場システム」の提案動画の制作を担当いただき、展示会で公開しました。パチンコ業界内に数多くのファンを持つYouTuberとのコラボは大きな反響があり、新サービスの周知に大きく貢献しました。

結果として、約5,500名のパチンコ業界関係者の皆さまにご参加いただき、盛況のまま会期を無事終えることができました。この参加者数は例年のホテル等の会場で実施する展示会の2倍以上であり、Webを用いた催しの訴求力の高さを改めて実感しました。昨年度は新型コロナウイルスの影響下でやむをえずWeb開催という面もありましたが、今回は積極的にオンライン開催に舵を切り、新しい試みも取入れることで、製品・サービスだけでなく、企業としての取組みについても、先進的な姿勢を業界内に示すよい機会になりました。

今後も今回の経験を生かし、製品・サービスの充実による企業価値向上はもちろんのこと、その価値を効果的に広める活動にも努めてまいりますので、引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。

## NOW 「DK-SIS白書2021年版(2020年データ)」 発刊

この度当社は創刊から数えて18冊目となる「DK-SIS白書2021年版(2020年データ)」を発刊しました。本書は、市場に設置されている遊技機の約36%にあたる約144万台もの膨大な営業データを日々集計・分析し、1年分の情報を集約したもので、売上規模だけでなく粗利規模まで網羅した業界唯一のデータブックとなっています。

今回の白書では例年のコンテンツに加えて、新型コロナウイルスが業界に及ぼした影響を出来事・データの両面にて特集しており、アフターコロナの営業を見据える上で必要な情報がコンパクトにまとまった一冊となっています。

DK-SIS並びに本書は、常に化する市場に対応するための情報収集ツールとして、ホール経営企業を中心に活用いただいています。なお、バックナンバーを当社WEBサイトに掲載していますので、ぜひご覧ください。



## NOW 「あいち女性輝きカンパニー」 認証を取得

当社は、「あいち女性輝きカンパニー」として認証され、愛知県から2021年10月1日に認証書を授与されました。2020年12月15日に認証された「名古屋市ワーク・ライフ・バランス推進企業」に続く認証取得です。

当社では、ワーク・ライフ・バランスを推進し、育児や介護など時間に制約のある従業員への配慮や、各種制度を利用しやすい職場環境を整備し、女性の活躍を促進する働きやすい職場づくりとして、以下の取組みを行なっています。



- ・マイライフ勤務(結婚・育児・介護による時短勤務)制度
- ・半日有給休暇/時間単位の有給休暇制度
- ・テレワークや残業削減推進
- ・通信教育補助制度
- ・スライド勤務制度
- ・24時間健康相談ができる健康サポート窓口設置

今後も当社は、従業員に対して、子育て支援や有給休暇の取得促進、長時間労働の抑制など、ワーク・ライフ・バランスの取組みを推進し、従業員が仕事上の責任を果たすとともに、生活と仕事を両立しながら、多様な生き方を選択・実現できる職場の実現を目指します。

## NOW 株主優待制度再開のご案内

当社は、コロナ禍での減収減益により2021年3月期に株主優待制度を廃止しましたが、2022年3月期は着実に業績回復しつつあることから、株主の皆さまの日頃のご支援に感謝



するとともに、当社株式への投資の魅力を高め中長期的に保有していただくことを目的として、内容を新たに株主優待制度を再開いたしました。

毎年9月末日時点の当社株主名簿に記載または記録された100株以上をご所有する株主さまを対象に、保有株式数と継続保有期間に応じてオリジナルQUOカードを贈呈いたします。

お届けは毎年12月上旬に発送しておりますこの「株主通信」に同封いたしますので、ご利用いただければ幸いです。

今後とも、変わらぬご愛顧とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

| 保有株式数           | 継続保有期間※ |              |         |
|-----------------|---------|--------------|---------|
|                 | 1年未満    | 1年以上<br>3年未満 | 3年以上    |
| 100株以上～500株未満   | 1,000円分 | 2,000円分      | 3,000円分 |
| 500株以上～1,000株未満 | 2,000円分 | 3,000円分      | 4,000円分 |
| 1,000株以上        | 3,000円分 | 4,000円分      | 5,000円分 |

※継続保有期間とは、同一の株主番号で株主名簿基準日(毎年3月末日及び9月末日)の株主名簿に連続で記載または記録されていることをいいます。

# 会社及び株式の状況 (2021年9月30日現在)

## 会社概要

商号 ダイコク電機株式会社  
DAIKOKU DENKI CO., LTD.  
創業 1965年 9月  
設立 1973年 7月  
資本金 6億7千4百万円  
本社 名古屋市中村区那古野一丁目43番5号  
従業員数 (単独)419名 (連結)638名  
事業内容 パチンコホール向けコンピュータシステムの開発・製造・販売  
パチンコ遊技機用ユニット・パチスロ遊技機の開発・製造・販売  
決算期 3月31日  
事業所 3事業所、4支店、13営業所  
連結子会社 元気株式会社、DAXEL株式会社、  
ダイコク産業株式会社、アロフト株式会社

## 役員

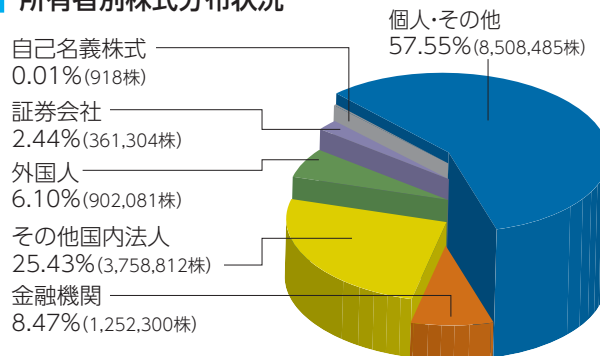
|         |        |
|---------|--------|
| 代表取締役会長 | 栢森 雅勝  |
| 代表取締役社長 | 大上 誠一郎 |
| 代表取締役専務 | 栢森 健   |
| 常務取締役   | 栢森 啓   |
| 常務取締役   | 大成 俊文  |
| 取締役     | 藤巻 靖裕  |
| 取締役     | 松原 真那武 |
| 取締役     | 加藤 忠芳  |
| 取締役     | 岡本 篤憲  |
| 取締役     | 尾関 貴夫  |
| 取締役     | 足立 芳寛  |
| 取締役     | 武田 邦彦  |
| 常勤監査役   | 吉川 幸治  |
| 監査役     | 田島 和憲  |
| 監査役     | 知念 良博  |
| 監査役     | 中島 健一  |

(注)1.取締役 足立芳寛氏、武田邦彦氏は社外取締役であります。  
2.監査役 田島和憲氏、知念良博氏、中島健一氏は社外監査役であります。

## 株式の状況

発行可能株式総数 66,747,000 株  
発行済株式総数 14,783,900 株  
株主数 16,863 名

## 所有者別株式分布状況



## 大株主

| 株主名                     | 持株数(株)    | 持株比率(%) |
|-------------------------|-----------|---------|
| 株式会社K C プラス             | 1,199,200 | 8.11    |
| 栢森 雅勝                   | 951,150   | 6.43    |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 910,500   | 6.15    |
| 公益財団法人栢森情報科学振興財団        | 750,000   | 5.07    |
| 株式会社大黒屋                 | 750,000   | 5.07    |
| ダイコク興産株式会社              | 490,000   | 3.31    |
| 栢森 寿恵                   | 443,500   | 3.00    |
| 栢森 将豪                   | 443,500   | 3.00    |
| 栢森 綾音                   | 443,500   | 3.00    |
| 栢森 新治                   | 443,450   | 2.99    |

※上記所有株式数について、当事業年度より、名寄せを行わず株主名簿の記載どおりに表示しております。

## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日  
定時株主総会 6月下旬  
基準日 定時株主総会 3月31日  
期末配当 3月31日  
中間配当 9月30日  
その他必要があるときは、  
あらかじめ公告いたします。  
一単元の株式数 100株  
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 〒460-8685  
名古屋市中区栄三丁目15番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063  
電話照会先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL.0120-782-031(フリーダイヤル)  
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の  
本店及び全国各支店で行っております。  
公告方法 電子公告によります。ただし、やむを得ない  
事由によって電子公告ができない場合は、  
日本経済新聞に掲載いたします。  
公告のホームページアドレス  
<https://www.daikoku.co.jp>